

バリアフリー2015で

大阪府理学療法士会が出展と研修会を開催！！

～相談件数 111 件・研修会 181 名参加～

4月16日(木)～18日(土)にインテックス大阪で第20回高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展バリアフリー2015が開催されました。3日間で来場者数は95,012人の大きなイベントでありました。開催状況は<http://barrierfree.jp/> でご覧いただけます。

社会局では、「リハビリテーション相談」をテーマにした出展と「腰痛予防に役立つ介護技術のノウハウ～介護する側・される側にも安全・安心・安楽な移乗方法～」をテーマとした研修会を開催しました。相談件数は111件、研修会参加者は181名と多くのご参加をいただきました。

この開催にあたり、府士会員の皆様方には多大なるご理解・ご協力を賜りましたことを御礼申し上げます。

出展

出展では、「リハビリテーション相談コーナー」と銘打って、おひとりおひとりに時間をかけて対応することをコンセプトにリハビリテーションに関する相談を行いました。ブース内には、府士会で作成した「介護技術講習会テキスト」に基づいた介護方法のパネルを展示し、さらに介護方法を具体的に説明するためにベッドを設置しました。相談内容は、自主トレーニング、介護方法、リハビリテーションを受けられる施設、制度に関すること等、多岐にわたる内容であり、理学療法士に求められているものが大きくなっていることを感じました。昨年度は、患者・利用者様またそのご家族からの相談が多かったものが、今年度は介護関係職種の方からの相談が多くなり、普段近くで働いている他職種の悩みを聞くことができ、臨床現場でもより密接に連携していく必要があると感じました。

来場者数が9万人を超える大きなこのイベントでさまざまな方々より直接お話を伺えたことは理学療法及び府士会の啓発ができる良い機会になったと考えております。

研修会

研修会では、講師に府士会員の木上秀幸氏を迎え、腰痛の基礎知識、腰痛予防に着目した身体の使い方や力学的知識、移乗動作の介護方法等の内容で講演していただきました。受付開始から多くの方が来場され、181名もの参加者があり大盛況でした。講義は、介護方法を説明する写真や動画を多く取り入れた分かりやすい内容でした。アンケートでは、「腰痛の原因、移乗の際のポイントがわかった」「映像が分かりやすかった」とのご意見をいただきました。また、「実技練習がしたかった」や「障害に応じた介助方法を知りたい」などの参考となる意見も頂きました。参加者の中には、実際に実技指導を希望される方も多く、各ブロックでの介護技術講習会を広報する良い機会となりました。本研修会を通じて、府民の皆様には腰痛を予防できるような介護方法を知って頂いたことに加えて、各ブロックで行われている事業を知っていただき、少しでも多くの方々に私たちの技術を提供できる場を増やしていければと考えています。来年度も皆様に満足していただけるような研修会を開催できるよう運営に努めてまいります。

